

# 『人口減少社会でも輝く！埼玉研究会』report

## 第6号 (平成 27 年 9 月 29 日号)

編集・発行：彩の国さいたまづくり広域連合 政策研究担当

### 第6回研究会を開催しました！

第6回研究会を9月29日（火）に自治人材開発センターで開催しました。今回の研究会では、①中間報告会の振り返り、②ワールドカフェ（意見・情報交換）、③各チームによる事業案検討等を行いました。

中間報告会の振り返りでは参加者の皆さまからいただいたご意見をもとに、各チームで発表した事業案の今後の方向性等を話し合いました。（本当にたくさんのご意見を頂戴しました。参加者の皆さまからいただいたご意見は大切に取ってまいります。）また、ワールドカフェでは、自然増、社会増、雇用増の各チームが提案したテーマ（「①結婚の決め手」「②空き教室の利用にあたり学校側の理解を得るためには」「③起業する時にどのようなサポートがあるとよいか」）を皆で話しあいました。今回のワールドカフェでは研究員以外の参加者（6名）を特別ゲストとして迎え、自由・活発に、そしていつも以上に楽しく意見交換を行うことができました。とても有意義な時間となったので、機会を捉えて第2弾を実施できればと思います。

午後の事業案検討では、中間報告会で各チームが発表した事業案の見直し・深掘りのほか、新たな提案事業の検討を行いました。私たち研究会は最終的に63（埼玉県内の市町村数）以上の事業提案を行うことを目標としています。2月の成果報告で皆さんにしっかりとしたもの、お役に立てるものをお示しできるよう、これからも頑張っていきます。

### 事業案検討 ☆☆☆ 自然増チーム（チーム名：『NATURES』）☆☆☆

中間報告会でいただいたご意見等を参考にしながら、報告会でお披露目した3事業について改めて検討しました。それぞれのモデル地域の設定が未着手となっていたので、どういった視点を持ってどこをモデル地域とするかなどの検討も進めました。

また、これまでは出生数を増やす事業の検討を行ってききましたが、死亡数を減らす事業の検討も始めることとしました。牧瀬先生からアドバイスをいただきながら、今後、自殺防止、交通事故防止などの観点から事業案を検討していくことになりました。



### 事業案検討 ◆◆◆ 社会増チーム（チーム名：『人口増やしな埼玉 いらっ彩』）◆◆◆



中間報告会で報告した3事業のうち、「送迎付き夕焼け教室」については、参加者の方から既に事業化している団体の事例について助言いただいたので、その団体について詳しく調べ、ヒアリング先とするか協議しました。

教育事業を充実させることで社会増を図る、という当初の目標を達成するべく、埼玉県の社会的特性をさらに掘り下げながら、牧瀬先生からもご紹介いただいた教育関係団体なども視察先として伺うか、チームで情報を集め後半戦の戦略を練っていきます。

### 事業案検討 ※※※ 雇用増チーム（チーム名：『雇用プラスZONE』）※※※

まず、中間報告会で提案した事業の深掘りや新たな事業案検討の方向性について意見交換しました。今後の方向性として、雇用者側の視点からの事業提案、埼玉県を地域ごとに分割して事業案を検討するのはどうか等の意見が出されました。

今回新たに事業候補として上がったものは、若年層を対象とした企業情報提供ホームページの開設や、新規就農に関するものなど。これからチーム内での議論を重ね、埼玉の人口増加に資する事業案に育てていきます。



## 中間報告を行いました！

9月18日（金）、これまでの研究経過を発表する「中間報告会」が開催されました。中間報告会では私たち研究会の発表のほか、「空き家有効活用・埼玉プロジェクト」研究会による発表も行われました。また、「地方創生コンシェルジュ」埼玉県担当3名による講演も行われ、今後の研究に大変参考となる情報を得ることができました。

### ★★「中間報告会2015」プログラム★★

- 1 地方創生コンシェルジュによる講演
  - (1) 「地方創生に向けた取組」  
内閣府 地方創生推進室 参事官補佐 今泉 幸夫 氏
  - (2) 「少子化対策の推進について」  
内閣府 子ども・子育て本部 企画官 角田 リサ 氏
  - (3) 「不動産ストックの再生・利用の推進による  
地域経済の活性化に向けて」  
国土交通省 不動産投資市場整備室 室長 小林 正典 氏

### 2 産民学官・政策課題共同研究 中間報告

#### (1) 「人口減少社会突破戦略」中間報告

#### (2) 「空き家有効活用・埼玉プロジェクト」中間報告

※中間報告会の概要、発表資料はこちらから↓↓↓





<http://www.hitozukuri.or.jp//jinzai/seisaku/kyodokenkyu/H27kyodokenkyu/top.htm>



【中間報告会終了後、牧瀬先生と研究員で記念撮影】発表は無事に、そして大成功に終わりました。これからも研究員一同力を合わせて頑張っていきますので、応援よろしくお願いします!!!

## 研究会の仲間を紹介します♪（第5回）

私たちの研究会は牧瀬先生と、職場も年齢も経験も様々な「個性溢れる」研究員22名で構成されています。このコーナーでは、毎号研究会の仲間たちを紹介していきます。

<b>加藤 由里子（自然増チーム）</b>  所属：認定 NPO 法人ふじみの国際交流センター 「埼玉に住む人が元気になるような政策・事業を、ほかの研究員の皆と一緒にしっかり考えていきたいと思っています。」	<b>岡野 隆史（社会増チーム）</b>  所属：上尾市広報広聴課 「政策形成のプロセスを学び、今後の業務に活かしていきたいと思っています。楽しみながら研究を進めていきたいです。」
<b>渡辺 潤（社会増チーム）</b>  所属：和光市こども福祉課 「地域の特性や将来性について深く掘り下げ、政策立案や地域活性化の提言に繋がってきたいです。」	<b>平良 好利（雇用増チーム）</b>  所属：獨協大学地域総合研究所 「研究員の皆さんと議論しながら、既存の枠組みを越える何かを見つけていきたいと思っています。」

## 次回の研究会は・・・（予定）

次回研究会（10/16）では、事業案の検討のほか、「フィールドワーク」訪問先や来年3月にまとめる「研究報告書」の執筆スケジュール等について決めていく予定です。また、牧瀬先生の特別講義「読まれる文章・報告書の基本的ポイント」も開催します。この講義はどなたでも参加できます。興味のある方は事務局（政策研究担当）までお問合せください。

## ～今号の最後に事務局から～

中間報告会が無事に終了しました。これまで研究にご協力いただいた皆さま、応援して下さった皆さま方にあらためてお礼申し上げます。今回の研究会から2月の研究成果報告に向けた新たな事業案検討が始まりました。様々な視点から、そして地域の現状に即した事業案を生み出していきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします！

◆研究会に関するお問合せは「政策研究担当」まで TEL：048-664-6685 E-mail：jinzai03@hitozukuri.or.jp